

ブドウ丸ごとボトルで高級感

香港で来春 初の試飲会



備後ふくやま丸ごと
産館でブドウジュース
をアピールする中島社
長

「沼隈ぶどうジュース」は沼隈内海商工会
や住民が2008年、
新たな特産品を目指し
て開発した。同町で商
品化された品種ニュー
ベリーAを使う。09年
から同工房が同商工会
員や住民と製造してい
る。ワインのような5

福山市沼隈町の特産品を製造する「ぬまくま夢工房」は来年春、同町
産ブドウ果汁100%の高級ストレートジュースのアジア輸出向け、
香港で初めて試飲会を開く。試飲会にも使うことしの製造分の販売が25
日、同市延広町の備後ふくやま丸ごと物産館で始まった。(水川恭輔)

沼隈産ジュースアジアへ

福
山

00ミリ入りのボトル
で高級感を演出し、1
900円。

ことしは9月に収穫
したブドウで昨年に比
べ100本多い500
本を製造。同月、日本
内を訪れた香港のバイ
ヤーに試飲してもらう
と、「ブドウそのもの
を食べている感じだ。
香港で売りたい」と好
評だった。同工房は試
飲会で現地の消費者
の反応を調べた上で、
本格的な輸出を目指す。

試飲会では保命酒や
府中みそなど備後地
域のほかの特産の紹介
も検討する。同工房の
中島基晴社長は「少
子化で国内の需要が今
後伸び悩む恐れがあ
り、アジアにも販路を
広げたい」と話してい